

リチウムイオン電池使用製品による火災事故が増えています！

リチウムイオン電池は日常の様々な製品に使われています

身に着ける、持ち歩く製品にも使用されています

《リチウムイオン電池が使われている製品》

○スマートフォン ○ノートパソコン ○電動アシスト自転車 ○コードレス掃除機
○モバイルバッテリー ○スマートウォッチ ○ワイヤレスイヤホン ○携帯用扇風機

《事故事例》

- ・4年前に購入したワイヤレスイヤホンが充電後に発火し、一緒にカバンに入れておいた水筒などを焦がした
- ・スマートウォッチを腕につけたまま寝ていたところ、深夜に突然発火して腕にやけどをし、シーツが焦げた
- ・携帯用扇風機の充電中に、熱で本体やUSBが一部溶け、ひどいにおいがした

～製品を使用する際の注意ポイント～

●強い衝撃や圧力を加えないようにしましょう

リチウムイオン電池は、強い衝撃や圧力により損傷し、発煙・発熱・発火爆発する場合があります。

●高温になる場所では使用・保管しないようにしましょう

リチウムイオン電池は、高温環境に置かれることで、内部で異常な反応が進み発熱・発火等に至る場合があります。

●異常を感じたら使用を中止しましょう

熱くなっている、膨らんでいる、液漏れする、異臭がする、異音がするなど異常が見られた場合はそのまま使い続けることで事故につながる場合があります。

いつもと違うことに気が付いたら直ちに使用・充電を中止し、事業者の修理窓口などに相談してください。

※リチウムイオン電池使用製品を廃棄する際は、自治体のルールに従いましょう



消費者庁
消費者ホットライン 188
イメージキャラクター イヤヤン



『おかしいなあ・・・』と思ったら、迷わずご相談ください！

村上市消費生活センター ☎75-8941 F A X 53-3840 ※専門の相談員がいます			
荒川支所地域振興課	☎62-3103	朝日支所地域振興課	☎72-6885
神林支所地域振興課	☎66-6112	山北支所地域振興課	☎77-3112

消費者ホットライン

☎ 188（いやや！）お近くの消費生活相談窓口につながります。